

hand in hand

秋田県立大曲養護学校
地域支援部報 3号
平成27年8月25日発行

8月4日(火)に県立農業科学館多目的ホールを会場に特別支援教育研修会を行いました。本校職員の他、県内の特別支援学校、大仙・美郷、仙北地域の幼稚園・保育所・小学校等からもたくさんの方が参加されました。

今回の部報では、研修会の内容の一部をご紹介します。

講師：名古屋 恒彦 氏

岩手大学教育学部 特別支援教育科 教授

〃

附属特別支援学校校長

演題：「子ども主体の学校生活」～やりがいと手応えのある生活を～

☆講演の主な内容☆

教育目標「自立」の本質を見直そう！

子どもであっても、大人であっても、自分の力だけで自立しているわけではない。知らず知らずに周囲から適切な支えを受けているからこそ、自分らしくあれる。

自立ということは、支援の量の多少ではなく、「行き届いた支援」というように支援の質によって規定される。



自立を具体化する学校

自立的・主体的生活とは…①確かな目当て・見通しをもち、仲間とテーマを共有できる生活。②一人一人が自分の力で活動し、仲間とともに取り組める生活。③存分に生活し、大きな満足感・成就感を分かち合える生活。…いわば質の高い生活

どの子どもにも「できる状況」を

精一杯取り組める状況と、首尾よく成し遂げられる状況を一人一人に的確に用意していくことが「できる状況づくり」。子どもに努力を強いて、できる力をつけてできるようにするのはなく、その子なりのよい姿が実現するように。

子どもを「できない子」とは見ないで

「できない状況に置かれている子」と見れば、周囲の支援を求めやすくなり、胸を張って外に目が向けられる。

できる状況づくりとしての「学校生活づくり」

第1の原則～「子どもの思いを大切に」

子どもが求めていることと、教師が子どもに必要と考えることが、時に一致しないことがある。子どもが求める活動を大切にすることを原則にしながらも、時には子どもの求めない活動についても、『子どもが求めてもよいはずの活動』とみて計画することがあってもよい。それに取り組む過程で、その生活が誰のものでもない、子ども自身の生活になることが大事。

第2の原則～「今を将来に」

「期待する卒業後の生活に自然につながる生活にすること」子どもの現在の生活を大切にしながら、一方で、その子なりの将来の生活を、とりわけ卒業後の生活をしっかりと展望しておき、現実可能と期待できる将来の生活に現在の生活をつなげていくことが重要。

第3の原則～どの子にも「主体性の確立」を

本物の生活で力を発揮すれば力は育つもの。力をつけるよりも、力を発揮できる状況づくりに意を注ぎ、教師は、どの子も力を発揮できるよう、子どもの活動を支援する。そうすることで、子どもは、自分の力を発揮し、自立的・主体的に生活できる。

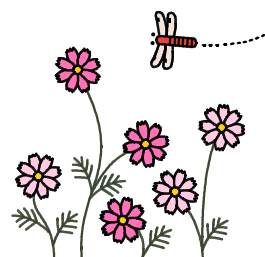


自然なまとまりのある本物の生活をしてこそ、主体的である。主体的であれば、子どもは日々その主体性を発揮し、その子らしく成長していける。「〇〇を教えなくっちゃ！」という思いからいったん自由になったところで見えてくる本当の育ちもある。これは、すべての学校教育が見直すべき、大事なことだと思う。

☆参加者アンケートより☆

- 名古屋先生のお話を拝聴し、子ども主体に対する考え方について整理でき、深く考えさせられました。とても参考になりました。
- 今後、子どもたちともっと関わり、子どもの求めているものをよく考えていきたいと思えます。
- 「じっとしてられない、だめな子、困った子ではない。先生がだめな先生だから。」が心に響きました。日々反省させられます。一人一人が見通しをもち、主体的に生活できる状況づくりをしていきたいと思えます。
- 「適切な支援、行き届いた支援をしていくことに徹する！！」という言葉がとても印象的でした。つい支援を減らしていくと考えがちでしたが、必要がなくなった時の見極めを大切にしていきたいと思えました。

本校の公開研究会(10月9日)でも、「子ども主体の授業づくり～どの子にもできる状況づくり～」という演題で、名古屋先生より御講演いただくことになっております。
詳しくは、本校ホームページをご覧ください。



大曲養護学校相談窓口

秋田県立大曲養護学校 TEL：0187-68-4123

教 頭：高橋 貢 地域支援部主任：栗谷川 美和子

教育専門監：鎌田 誠

せんぼく分教室 TEL：0187-42-8568

教 頭：松井 克彦 地域支援部：菅原咲希子

本校の地域支援として、教育相談・学習指導・研修・情報と教材提供を進めていきます。新しい取組や要望も受け入れていきますので、担当まで御連絡ください。また、本校のホームページでも様々な情報を発信していく予定ですので、御活用ください。

部報「hand in hand」は、大曲養護学校 HP からダウンロードできます。